

# 平成 28 年度後期 地球科学実習 I (A 班：内藤担当分) レポート課題

## 提出方法

〆切：12月2日(金)、提出先：21号館3階事務室前ポスト(内藤用)、用紙サイズ：A4、  
授業科目名、学生番号、氏名を記した表紙をつけ、必ずホチキス留めする。(返却はしない予定。)

## 課題内容

これまでの実習で実施した以下の観測 1) ~3) のそれぞれについて、A) 観測および解析方法の説明、  
B) 解析結果、C) 考察、を分かりやすくまとめよ。

### 1) センサーのキャリブレーション (マニュアル観測比較も含む)

- 1-A) 全般説明 (記録データの一部を解析対象としない場合の理由説明も)
- 1-B) 主要な散布図と、補正式 ( $y=ax+b$ ) の係数 (a, b) および相関係数 ( $R^2$ ) の一覧表
- 1-C) 得られた補正式の妥当性に関する考察、マニュアル観測の精度や問題点に関する考察

### 2) 地温、気温の鉛直分布とその日変化

- 2-A) 全般説明
- 2-B) 時系列図および鉛直分布の時間変化図
- 2-C) 各深/高度の地/気温の日変化にみられる特徴 (日変化の大きさ、時間的ずれ等) に関する考察

### 3) 各種気温指標の比較

- 3-A) 全般説明 (WBGT の計算方法、および計算対象とした時間やセンサーに関する説明も)
- 3-B) 各種気温指標、WBGT の時系列図
- 3-C) 各種気温指標の特徴 (気温以外に何の影響を受ける温度か等) に関する考察

### 4) これまでの実習全般に対する感想

(今後の実習内容を検討する際の参考としたいので、率直に書いて欲しい。)

## 注意・補足事項

- 記録データを各小班内で共有することは当然だし、解析方法について相談することも構わないが、解析結果の図表の作成は必ず各自で行うこと。(友人のコピーでは、実習の意味がない。) また当然ながら、考察は各自で文章を書き下すこと。図表や考察の文章をコピーしたと思われるレポートは評価対象としない。
- 上記 1) ~3) の観測項目全てについてまとめることがベストだが、一部のみのレポートであっても受けつける (レポート未提出の場合は単位認定しない)。少なくとも他人のレポートをコピーするよりも、自分で〆切までにできたところまでの提出で可とする。ただし 4) 感想については、必ず何か書き記すこと。
- 観測生データの一覧表や同種で多数の図をベタベタ並べる必要はない。「ページ稼ぎ」は紙資源の無駄遣いだし、ページ数の多寡とレポート内容の優劣は必ずしも比例しない。ただし解析結果を示す「主要な」図表は含むこと。そして解析結果の図表や数値を示すだけでなく、その説明・解釈・考察などの文章 (レポート本文) が重要である。